

令和5年度中期計画進捗状況に対する所見（素案）からの主な修正箇所一覧

No.	大項目 該当箇所	所見（素案）の文章	修正案	備考
1	大項目 1	◎優れた点・特色ある点 ・東京都の課題解決に資する調査・研究について、毎年継続的に 18 件、6 年間で 100 件以上のプロジェクトを実施するという挑戦的<u>目標</u>を設定し、順調に成果をあげている。 ・政策能力の育成に向けた東京都人材育成センターとの協働や、災害等に備えた医療人材の育成に向けた都立病院との連携を実施している。今後、対象を明確にすることなどで、都立の大学ならではの取組を推進することを期待される。 ◇改善・充実を求める点 ・都や自治体等との連携による人材育成について、事業件数など客観的な目標の設定が望まれる。	◎優れた点・特色ある点 ・東京都の課題解決に資する調査・研究について、毎年継続的に 18 件、6 年間で 100 件以上のプロジェクトを実施するという挑戦的<u>な評価指標</u>を設定し、順調に成果をあげている。 ・都や自治体等との連携による人材育成について、政策能力の育成に向けた東京都人材育成センターとの協働や、災害等に備えた医療人材の育成に向けた都立病院との連携を実施している。今後、<u>事業件数など客観的な成果の見通しについて</u>も検討するとともに、育成の対象をより明確にすることなどで、都立の大学ならではの取組を推進することが期待される。	目標値等に関する用語の整理 関連事項の統合
2	大項目 2	◎優れた点・特色ある点 ・専門人材による講座や様々な業界の起業家の講演などアントレプレナーシップ教育を進め、学生<u>の起業に対する機運醸成を図っている。</u> ・オープンユニバーシティの公開講座について、90.7%と高い受講満足度を得るとともに、プレミアム・カレッジにおいて、募集人員を<u>超える出願者数を安定的に確保するなど、計画の達成に向けて順調に進んでいる。</u> ◇改善・充実を求める点 ・大学発ベンチャーについて、6 年間で24社を創出する<u>目標</u>に対し、令和5年度の実績は1社となっているが、<u>最終年度以外の年度の目安値が明らかにされていない。</u>こうした計画が他にも見られるが、<u>各計画の達成に向けて、行動計画を具体化し、年度ごとの目安値を設定することが望まれる。</u> ・創業に関する講座を開催した場合、実際に創業する人は、講座受講者のごく一部の者であることが多いため、<u>取組の充実が期待される。</u> ・アントレプレナーシップ教育について、受講者数の目標値を定め、<u>底上げを図る方向性を明確にすることが望まれる。</u> ・オープンユニバーシティについて、今後の満足度の目安値が実績よりもかなり低く設定されているが、<u>実績を踏まえた目標を設定することが望まれる。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・専門人材による講座や様々な業界の起業家の講演などアントレプレナーシップ教育を進め、学生に対して起業家精神の気運醸成を図っている。<u>今後、令和6年度から開講する授業の履修者数等の見通しを検討しながら、取組の充実を図ることが期待される。</u> ・オープンユニバーシティの公開講座については、<u>受講満足度が90.7%と評価指標を大きく上回っている。</u>今後、実績を踏まえた満足度の見通しを検討し、<u>取組を推進することが期待される。</u> ・プレミアム・カレッジにおいて、募集人員を超える出願者数を安定的に確保しており、<u>評価指標の達成に向けて順調に進んでいる。</u> ◇改善・充実を求める点 ・大学発ベンチャーについて、6 年間で24社を創出する<u>という評価指標</u>に対し、令和5年度の実績は1社となっているため、<u>指標の達成に向けて行動計画を具体化し、今後の道筋も示しながら取り組むことが望まれる。</u>また、教員・学生等に対する起業家マインドの醸成に取り組んでいくこととしているが、<u>起業までの個別支援などの取組の充実が期待される。</u>	関連事項の統合 事業内容に対応した表現の修正 目標値等に関する用語の整理

3	大項目 3 ◎優れた点・特色ある点 ・データサイエンスに関する社会人向けリカレント講座の令和5年度新規開設や、大学院博士後期課程への社会人入学者比率を平均30%以上とする<u>目標</u>について、順調に実施している。 ◇改善・充実を求める点 ・大学院博士後期課程への社会人入学者比率について、<u>目標値が平均30%以上となっているが、既に42.8%を達成しており、今後どのような水準を目指すのか、取組の方向性を明らかにすることが望まれる。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・データサイエンスに関する社会人向けリカレント講座の令和5年度新規開設や、大学院博士後期課程への社会人入学者比率を平均30%以上とする<u>評価指標</u>について、順調に実施している。<u>博士後期課程への社会人入学者比率については、既に42.8%を達成しており、今後どのような水準を目指すのか、取組の方向性を明らかにすることが期待される。</u>	関連事項の統合
4	大項目 4 ◇改善・充実を求める点 ・在籍留学生数を6年後に現在の約1.7倍の940名以上にするという<u>目標値は意欲的だが、令和5年度は前年度に比べ留学生数が減少している。目標達成に向けた方策を具体化し、留学生の出身地域の多様化や優秀な人材の受入れ拡大に向け、取組の充実を図ることが求められる。</u> ・海外派遣学生数を6年間累計で2,100名以上にするという挑戦的な目標を達成するためには、各年度の目安値を定めて、効果的で多面的な方策を実行することが求められる。 ・留学生数・海外派遣学生数については、コロナ禍を経て、将来の見込を積算することは難しいと思われるが、現状と目標にかなり乖離がある。こうした状況の要因分析と今後の対策を踏まえて、<u>目標値を検討することが望まれる。</u> ・交換留学生向けプログラムにおける各学部からの英語実施科目の提供数は、特定の学部で増加しているのみで、他は足踏みか減少となっている。今後の英語実施科目の更なる増設に向け、<u>全学的に取り組むことが望まれる。</u>	◇改善・充実を求める点 ・在籍留学生数を中期計画期間の最終年度である令和10年度までに940名以上にするという評価指標は意欲的だが、コロナ禍の影響もあり実績と乖離がある。<u>要因分析を踏まえて指標の達成に向けた今後の見通しを検討し、留学生の出身地域の多様化や優秀な人材の受入れ拡大に資する取組の充実を図ることが求められる。</u> ・海外派遣学生数を6年間累計で2,100名以上にするという挑戦的な評価指標についても、コロナ禍や円安の影響もあり実績と乖離がみられるため、<u>要因分析を踏まえて指標の達成に向けた今後の見通しを検討し、効果的で多面的な取組を更に充実させることが求められる。</u> ・交換留学生向けプログラムにおける各学部からの英語実施科目の提供数は、特定の学部で増加しているのみで、他は足踏みか減少となっている。今後の英語実施科目の更なる増設に向け、<u>留学生のニーズを踏まえた他学部への展開の検討も望まれる。</u>	関連事項の統合 目標値等に関する用語の整理 事業内容に対応した表現の修正
5	大項目 5 ◎優れた点・特色ある点 ・授業料の減免について、都立大独自の制度により、国の修学支援新制度より手厚い、充実した経済支援を実施している。 ◇改善・充実を求める点 ・学生の健康診断受診率は、改善が見られるが、引き続き<u>100%</u>を目指した取組が求められる。 ・セクシュアル・マイノリティ教職員研修の受講者については、6年間で150名以上という評価指標の達成に向けて順調な実績をあげているが、社会情勢を鑑みて、<u>目標値の引上げを検討することが望まれる。</u> ・<u>安心できる教育環境の提供に向け、セクシュアル・マイノリティに関する学生を対象とした講習会等</u>の取組を充実することが期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・授業料の減免について、従来から、都立大独自の制度により、国の修学支援新制度より手厚い、充実した経済支援を<u>継続して</u>実施している。 ◇改善・充実を求める点 ・学生の健康診断受診率は、改善が見られるが、引き続き<u>受診率の向上</u>を目指した取組が求められる。 ・<u>全ての学生が安心できる教育環境の提供に向け、セクシュアル・マイノリティ教職員研修の受講者については、6年間で150名以上という評価指標の達成に向けて順調な実績をあげているが、社会情勢に鑑みて取組の充実を図るため、受講者数の見通しを検討することが望まれる。さらに、学生を対象としたセクシュアル・マイノリティに関する講習会等についても、取組を充実することが期待される。</u>	事業内容に対応した表現の修正 目標値等に関する用語の整理

6	大項目 6	◇改善・充実を求める点 ・入試広報や入学者選抜の見直し、高大連携活動等の取組の成果を定量的に示すことが望まれる。	◇改善・充実を求める点 ・入試広報や入学者選抜の見直し、高大連携活動等の取組の成果について、<u>SNSのフォロワー数や高校生向けプログラムの参加者数など定量的な形で示すことが望まれる。</u>	事業内容に対応した表現の修正
7	大項目 7	◇改善・充実を求める点 ・被引用度トップ10%論文の割合については、学長裁量枠による研究費支援等の効果が出ることを期待したいが、<u>注目分野の変更等の更なる対策の検討も求められる。</u> ・テニュアトラック制度が十分な実績を挙げていないため、<u>伸び悩んでいる原因を分析した上で制度改善を図り、学内での理解促進に取り組むことが望まれる。</u>併せて、<u>クロスアポイントメント制度等の活用により、教員の流動性を一層高めることが期待される。</u> ・研究ポータルサイト等による研究情報の発信件数が、令和5年度の実績は33件であったが、令和6年度以降の計画は年間5件以上と低めに設定されているため、研究大学としてのビジビリティの向上という<u>目標にふさわしい発信件数とすることが望まれる。</u> ・科研費の採択額は概ね<u>目標値</u>に達しているが、<u>採択率</u>が前年度よりもかなり低下しており、要因の分析と対応策の検討が望まれる。	◇改善・充実を求める点 ・被引用度トップ10%論文の割合については、学長裁量枠による研究費支援等の効果が出ることを期待したいが、<u>重点的に支援する分野の点検等の更なる対応策の検討も求められる。</u> ・テニュアトラック制度について、利用実績が無かったことの原因を分析した上で制度改善を図り、制度を活用する学内各部局の理解促進に取り組むことが望まれる。併せて、<u>クロスアポイントメント制度の活用により教員の流動性を一層高めるなど、教育研究力の強化・進化に向けた取組の充実が期待される。</u> ・研究ポータルサイト等による研究情報の発信件数については、<u>評価指標では年5件以上とされているところ、令和5年度の実績は33件であった。令和6年度以降の見通しについても、引き続き研究大学としてのビジビリティの向上という中期計画にふさわしい発信件数とすることが望まれる。</u> ・科研費の採択<u>金額</u>は概ね<u>評価指標で目指している金額</u>に達しているが、<u>新規採択件数</u>が前年度よりもかなり低下しており、要因の分析と対応策の検討が望まれる。	事業内容に対応した表現の修正 目標値等に関する用語の整理
8	大項目 8	◎優れた点・特色ある点 ・<u>商工会議所や都の政策連携団体等の外部機関と連携した研修会を開催するなど、東京の産業振興に一層貢献することが期待される。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・<u>東京商工会議所の相談窓口を経由した技術相談を実施しているが、今後も都内の経済団体や都の政策連携団体等の外部機関との連携事業を通じて、東京の産業振興に一層貢献することが期待される。</u>	事業内容に対応した表現の修正
9	大項目 9	◇改善・充実を求める点 ・産業界からのニーズを教育内容に積極的に取り入れている姿勢は高く評価できるが、一方で自ら専門職大学院としてのあるべき姿を長期的な視点で検証・構築し、社会に理解を深めてもらう働きかけを行うことも期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・産業界からのニーズを教育内容に積極的に取り入れている姿勢は高く評価できるが、一方で自ら専門職大学院としてのあるべき将来像を長期的な視点で検証・構築し、社会に理解を深めてもらう働きかけを行うことも期待される。	所見の区分を「優れた点・特色ある点」に変更
10	大項目 10	◇改善・充実を求める点 ・グローバルPBLをはじめ、海外大学との連携・交流について一定の実績がみられるものの、一層活性化を図るとともに、積極的に情報を発信することが望まれる。	◎優れた点・特色ある点 ・グローバルPBLをはじめ、海外大学との連携・交流について一定の実績がみられる。<u>海外からの学生受入れ拡大を含めたグローバル化の取組について、一層の活性化を図るとともに、積極的に情報を発信することが期待される。</u>	所見の区分を「優れた点・特色ある点」に変更

11	大項目 14	◎優れた点・特色ある点 ・小中学生向け ICT・IoT 教育講座は、前年を大きく上回る参加者を集めており、社会貢献性が高いだけでなく、産技高専を知ってもらう上でも有効である。 ◇改善・充実を求める点 ・小中学生向け ICT・IoT 教育講座について、令和5年度の参加者実績を踏まえて、評価指標達成の基準となる6年間で600名を上回る参加者の獲得を目標とすることが望まれる。	◎優れた点・特色ある点 ・小中学生向け ICT・IoT 教育講座は、前年を大きく上回る参加者を集めており、社会貢献性が高いだけでなく、産技高専を知ってもらう上でも有効である。<u>令和5年度の参加者実績を踏まえて今後の見通しを検討し、更なる取組の充実を図ることが期待される。</u>	関連事項の統合
12	大項目 15	◇改善・充実を求める点 ・医工連携の未来工学教育プログラムでは知識とスキルの獲得が中心になっており、思考力やコミュニケーション能力等についても成長・向上が実感できるカリキュラムへと改善を図ることが望まれる。	◇改善・充実を求める点 ・医工連携の未来工学教育プログラムは、修了者アンケート結果によると、知識やスキルを獲得できたという回答が多くなっており、思考力やコミュニケーション能力等についても一層成長・向上が実感できるカリキュラムへと充実を図ることが望まれる。	事業内容に対応した表現の修正
13	大項目 18	◇改善・充実を求める点 ・特別推薦入試枠の拡大を見据え、令和6年度入学から推薦選抜の募集人員を増員し、その影響を見極めているとのことであるが、推薦入学者の学習状況などの成果も検証した上で、特別推薦入試枠の拡大について検討することが望まれる。	◎優れた点・特色ある点 ・特別推薦入試枠の拡大を見据え、令和6年度入学から推薦選抜の募集人員を増員し、その影響を見極めているとのことであるが、推薦入学者の学習状況などの成果も検証した上で、特別推薦入試枠の拡大について引き続き検討することが期待される。	所見の区分を「優れた点・特色ある点」に変更
14	大項目 20	◎優れた点・特色ある点 ・社会状況の変化に対応した法人経営に資するため、経営審議会において、生成AIの活用、日本の科学技術力の低下といった高等教育を取り巻く課題について意見交換を行っている。	◎優れた点・特色ある点 ・社会状況の変化に対応した法人経営に資するため、経営審議会において、生成AIの活用、日本の科学技術力の低下といった高等教育を取り巻く課題について意見交換を行っている。<u>こうした議論の場を通じて、俯瞰的かつ中長期的視野に立ったビジョンを打ち出していくことが期待される。</u>	事業内容に対応した表現の修正